

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東  
 コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	83	△60.2	△602	—	△611	—	△611	—
2019年12月期第3四半期	210	△61.2	△554	—	△558	—	△557	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △610百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △566百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△44.09	—
2019年12月期第3四半期	△48.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	1,485	1,339	88.8	90.20
2019年12月期	1,456	1,345	91.1	102.24

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,318百万円 2019年12月期 1,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200	△27.5	△742	—	△751	—	△781	—	△56.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	14,613,019株	2019年12月期	12,981,819株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	154株	2019年12月期	154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	13,858,283株	2019年12月期3Q	11,491,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動及び経済活動が制限されたことから、企業収益が大幅に減少し、雇用情勢が急速かつ大幅に悪化いたしました。第3四半期会計期間においては、緊急事態宣言の解除以降、政府による各種経済政策等により国内経済活動が徐々に再開の動きがみられるものの、感染拡大の第2波、第3波が依然懸念されていることや収束時期の見通しが立たないことなど、先行きの不透明感が極めて強い状況となっております。

当社グループはこのような環境の下、全社員の健康と安全を確保するため、在宅勤務などの対策により感染拡大防止に努めつつ再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は83,846千円(前年同四半期比126,804千円の減少)、営業損失は602,577千円(前年同四半期比47,670千円の増加)、経常損失は611,860千円(前年同四半期比53,217千円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純損失は611,030千円(前年同四半期比53,132千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、将来に向け更なる器材事業の成長を目指し、新製品の研究開発に取り組みました。また販売面におきましては、コロナ禍による営業活動の制限があったものの、器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化及び積極的な販売促進活動をした結果、第3四半期累計期間において、過去最高の売上を達成することが出来ました。一方、当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、共同研究先である東海大学より受託製造した先進医療にかかる1例目、2例目の自己軟骨再生シートの売上があったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、他の医療機関より受託製造の予定に遅れが生じたことなどにより、当初の売上計画が未達となりました。

以上のような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は82,044千円(前年同四半期比6,393千円の増加)、営業損失は45,610千円(前年同四半期比5,223千円の増加)となりました。

## ② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療等製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生シートパイプラインでは、追加治験の治験届を2020年10月20日に提出いたしました。また製造販売承認申請の時期につきましては、対象患者を限定したことやPMDAから当初の治験よりも多い症例数を求められていることから、2025年を予定しておりますが、治験施設の追加等、治験期間の短縮に向けて検討を重ねて参ります。

海外展開におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により遅れが生じているものの、今後も引き続き三顧股份有限公司(MetaTech(AP)Inc.)に対して食道再生上皮シート及び軟骨再生シート事業にかかる支援を行って参ります。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,802千円(前年同四半期比133,198千円の減少)、営業損失は342,693千円(前年同四半期比68,537千円の増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて15,091千円増加し、1,260,578千円となりました。これは、売掛金が42,373千円減少した一方で、現金及び預金が72,652千円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて13,752千円増加し、224,508千円となりました。これは、有形固定資産が2,944千円減少した一方で、投資その他の資産が16,740千円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて28,844千円増加し、1,485,086千円となりました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて34,738千円増加し、145,185千円となりました。これは、前受金が28,649千円、未払金が16,078千円減少したことなどによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて34,738千円増加し、145,185千円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,894千円減少し、1,339,901千円となりました。これは、新株予約権の行使に伴う新株の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ300,911千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失611,030千円を計上したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年7月16日に未定としていました業績予想を修正しております。詳しくは、本日公表の「2020年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,065,072	1,137,725
売掛金	56,562	14,188
商品及び製品	16,489	12,748
仕掛品	1,537	11,476
原材料及び貯蔵品	30,164	25,661
前払費用	19,093	20,780
その他	56,566	37,997
流動資産合計	1,245,486	1,260,578
固定資産		
有形固定資産	29,113	26,168
無形固定資産	552	509
投資その他の資産	181,089	197,830
固定資産合計	210,755	224,508
資産合計	1,456,242	1,485,086
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,313	3,736
未払金	33,733	49,811
未払法人税等	10,574	6,005
賞与引当金	4,244	17,385
前受金	30,114	58,763
その他	22,467	9,483
流動負債合計	110,447	145,185
負債合計	110,447	145,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,872,335	4,173,246
資本剰余金	1,094,132	1,395,043
利益剰余金	△3,617,630	△4,228,661
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,348,609	1,339,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△21,340	△20,958
その他の包括利益累計額合計	△21,340	△21,279
新株予約権	18,525	21,778
純資産合計	1,345,795	1,339,901
負債純資産合計	1,456,242	1,485,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	210,651	83,846
売上原価	39,014	32,177
売上総利益	171,637	51,669
販売費及び一般管理費		
研究開発費	379,645	340,071
その他	346,899	314,175
販売費及び一般管理費合計	726,544	654,246
営業損失(△)	△554,907	△602,577
営業外収益		
受取利息	11	11
為替差益	291	182
受取手数料	340	204
還付加算金	175	47
その他	15	34
営業外収益合計	834	479
営業外費用		
支払利息	175	—
新株発行費	4,394	9,762
営業外費用合計	4,569	9,762
経常損失(△)	△558,643	△611,860
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,737
特別利益合計	—	1,737
税金等調整前四半期純損失(△)	△558,643	△610,122
法人税、住民税及び事業税	△745	907
法人税等合計	△745	907
四半期純損失(△)	△557,897	△611,030
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△557,897	△611,030

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△557,897	△611,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△8,859	381
その他の包括利益合計	△8,859	60
四半期包括利益	△566,757	△610,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△566,757	△610,970
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ300,911千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,173,246千円、資本剰余金が1,395,043千円となっています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,651	135,000	210,651	—	210,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	75,651	135,000	210,651	—	210,651
セグメント損失(△)	△40,387	△274,155	△314,543	△240,364	△554,907

(注) 1 セグメント損失の調整額△240,364千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,044	1,802	83,846	—	83,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	82,044	1,802	83,846	—	83,846
セグメント損失(△)	△45,610	△342,693	△388,304	△214,273	△602,577

(注) 1 セグメント損失の調整額△214,273千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (第19回新株予約権の権利行使)

当社が2020年8月6日に発行した第19回新株予約権につき、2020年10月1日から2020年11月11日までの間に、以下のとおり行使されました。

## (1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称  
株式会社セルシード第19回新株予約権
- ② 行使価格  
1株あたり276~317円
- ③ 行使新株予約権個数  
4,336個
- ④ 行使者  
バークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)
- ⑤ 交付株式数  
433,600株
- ⑥ 行使価額総額  
124,606千円
- (2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金
  - ① 増加する発行済株式数  
433,600株
  - ② 増加する資本金の額  
62,537千円

## (資金の借入)

当社は、2020年10月14日開催の取締役会において、手元資金を厚くする目的で長期借入による資金調達を行うことを決議しました。

## (1) 長期借入金

- ① 資金使途  
運転資金
- ② 借入日  
2020年10月27日
- ③ 借入先  
株式会社りそな銀行
- ④ 借入金額  
100,000千円
- ⑤ 借入期間  
10年間(返済据置期間5年間)
- ⑥ 借入金利  
当初3年間無利子 4年後より1.4%
- ⑦ 担保提供資産の有無  
無

## (2) 長期借入金

- ① 資金使途  
運転資金
- ② 借入日  
2020年10月27日
- ③ 借入先  
株式会社りそな銀行
- ④ 借入金額  
60,000千円
- ⑤ 借入期間  
10年間(返済据置期間2年間)
- ⑥ 借入金利  
1.4%
- ⑦ 担保提供資産の有無  
無

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,065,072千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当第3四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

#### 当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。